

地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答

東京都保健医療局医療政策部

事前アンケートの結果（区東北部）

病院としての主な機能別の回答状況

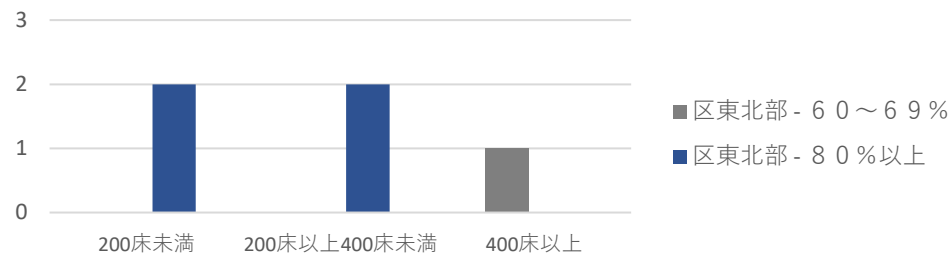
病院としての主な機能	病院数
高度急性期	3
急性期/サブアキュート	4
回復期/ポストアキュート	6
慢性期	3
ケアミックス（急性期・回復期）	5
ケアミックス（回復期・慢性期）	1
その他	7
計	29

許可病床数別回答病院数

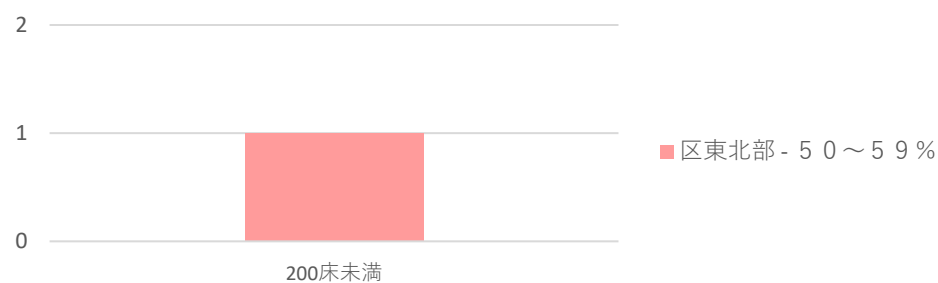
許可病床数	病院数
200床未満	25
200床以上400床未満	3
400床以上	1
計	29

■ 病床機能別稼働率【許可病床の規模別】

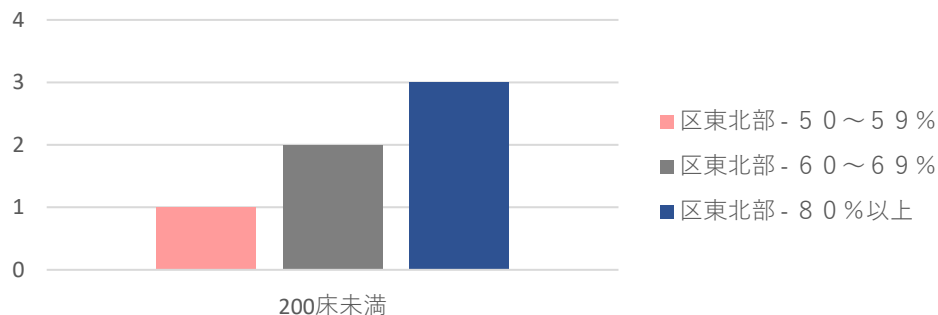
急性期 1



急性期 2・3

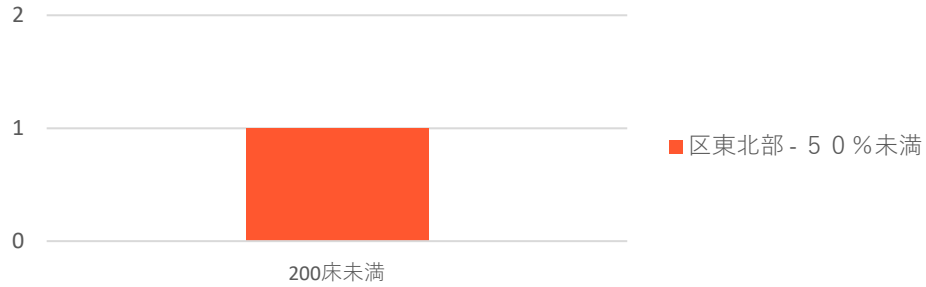


急性期 4～6

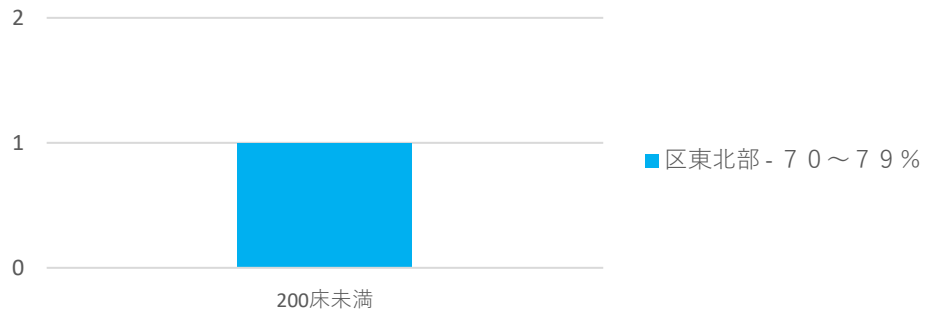


事前アンケートの結果（区東北部）

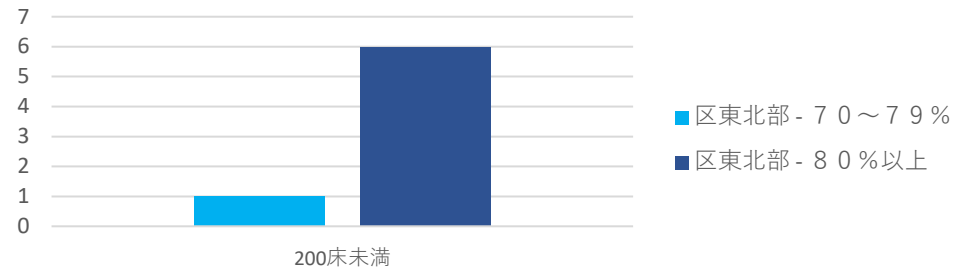
地域一般 1～3



地域包括医療



地域包括ケア 1・2

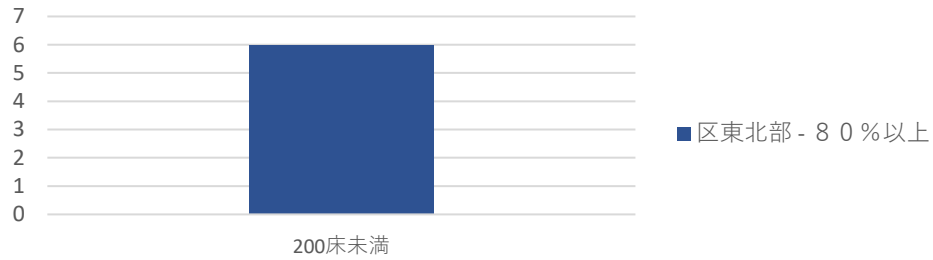


地域包括ケア 3

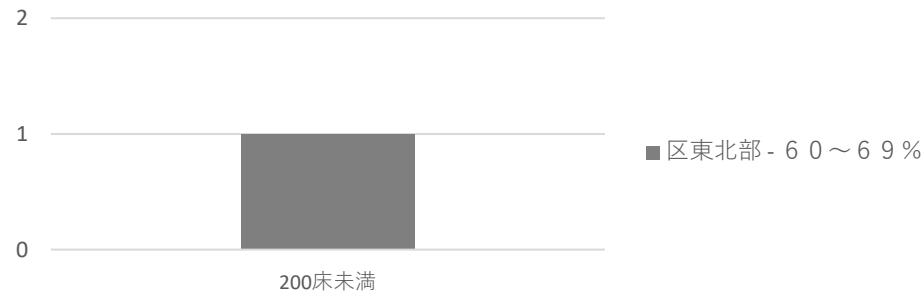
地域包括ケア（療養病床）

事前アンケートの結果（区東北部）

回復期リハ1・2

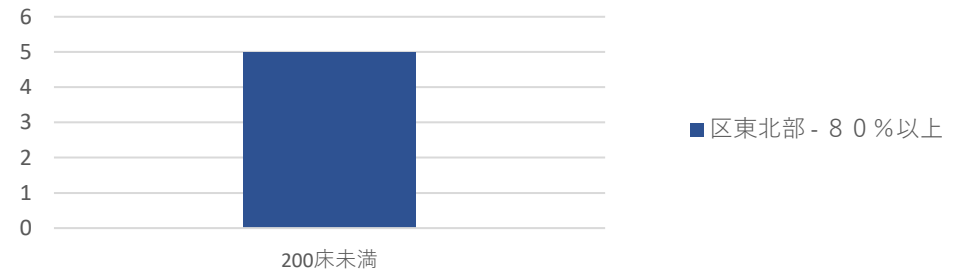


回復期リハ3・4



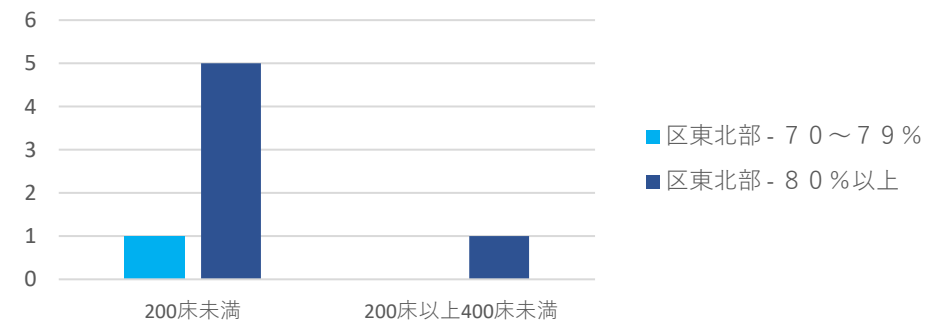
回復期リハ5

療養病床



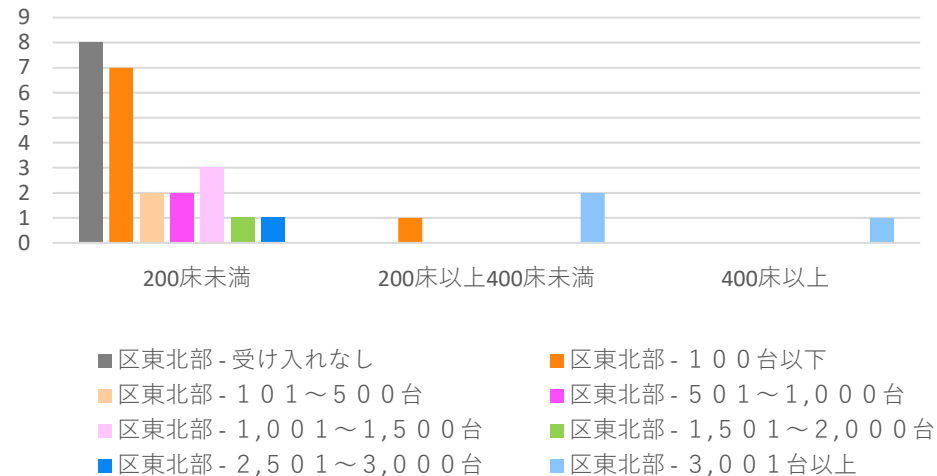
介護医療院

その他（精神病床、障害者施設等病床）



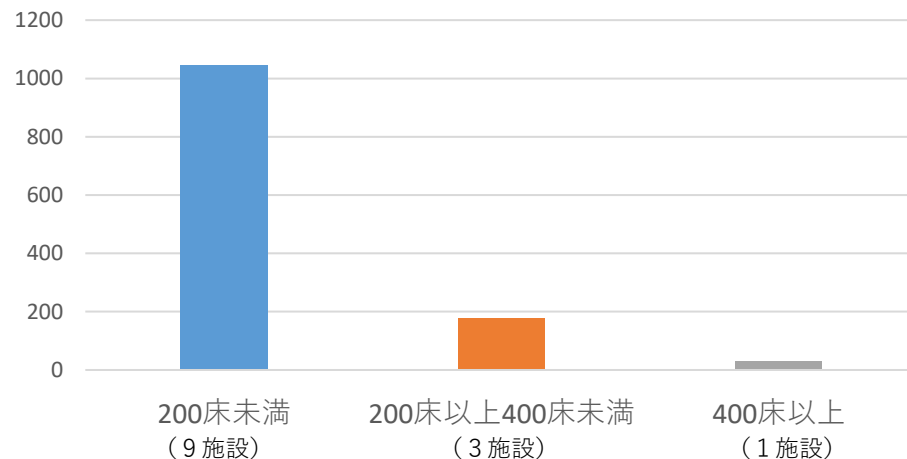
事前アンケートの結果（区東北部）

令和5年度救急車受入台数

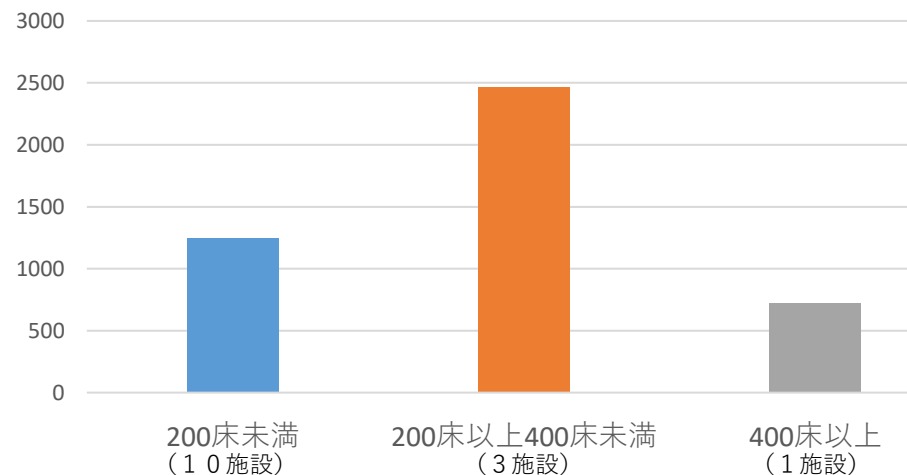


令和5年度地域連携入退院患者数

転院上り（人／年）（合計）



転院下り（人／年）（合計）



事前アンケートの結果（区東北部）

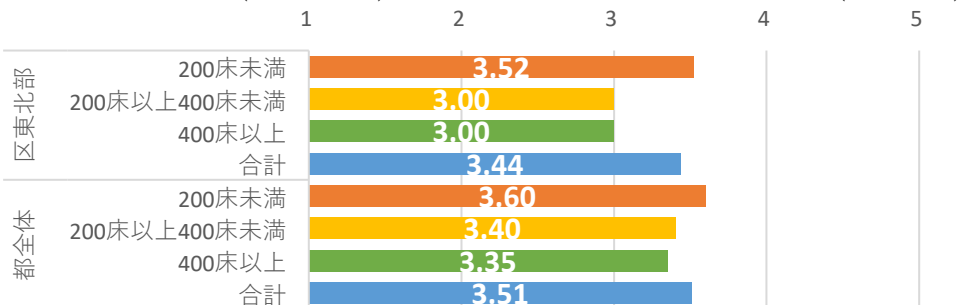
■ 連携等に関する影響について

《緊急搬送・予定転院》

平日・日昼の緊急搬送において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

(全く思わない)

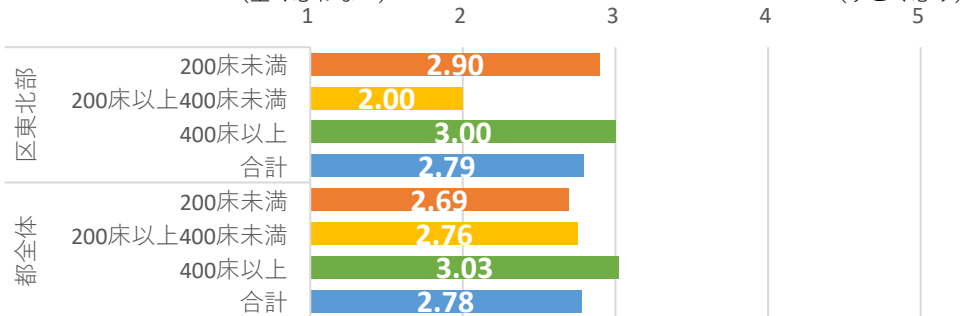
(すごく思う)



休日・夜間の緊急搬送は相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

(全く思わない)

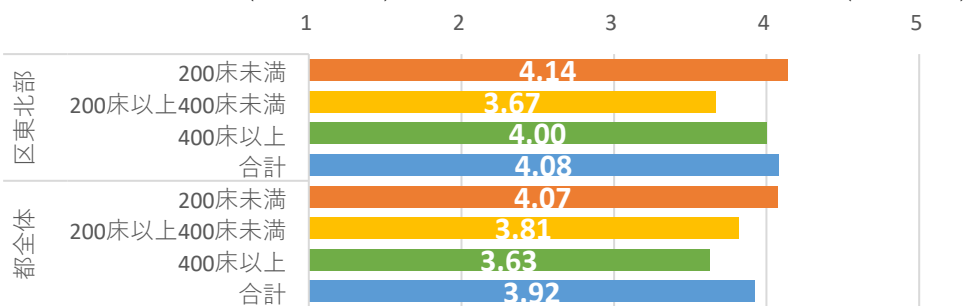
(すごく思う)



予定転院において、相手先の病院と円滑になされていると思いますか。

(全く思わない)

(すごく思う)

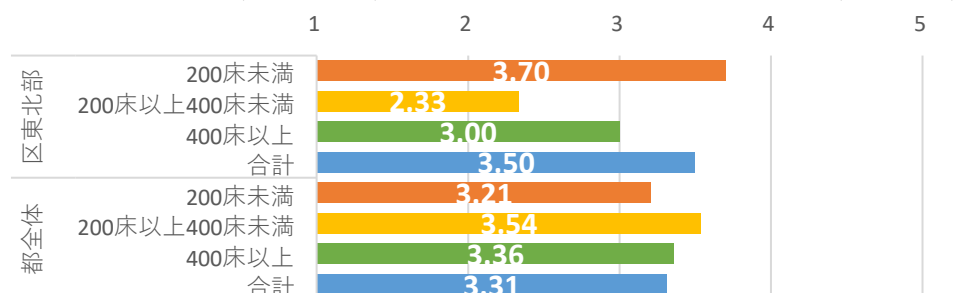


《受入側としての要望》

早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、診療科を絞れば受け入れは可能と思いますか。

(全く思わない)

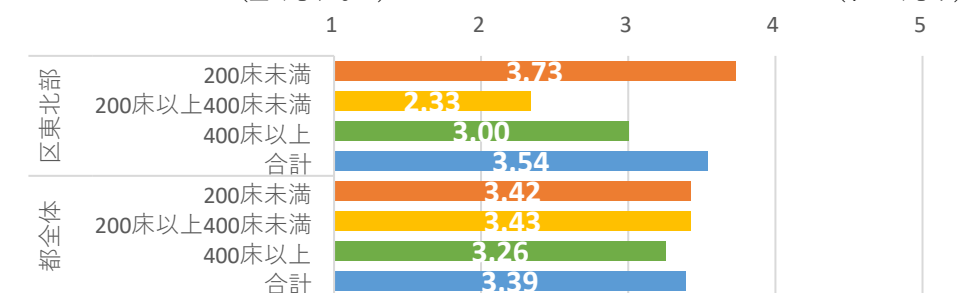
(すごく思う)



早期の転院を（迅速に）受け入れするに当たり、患者の重症度を限定すれば受け入れは可能と思いますか。

(全く思わない)

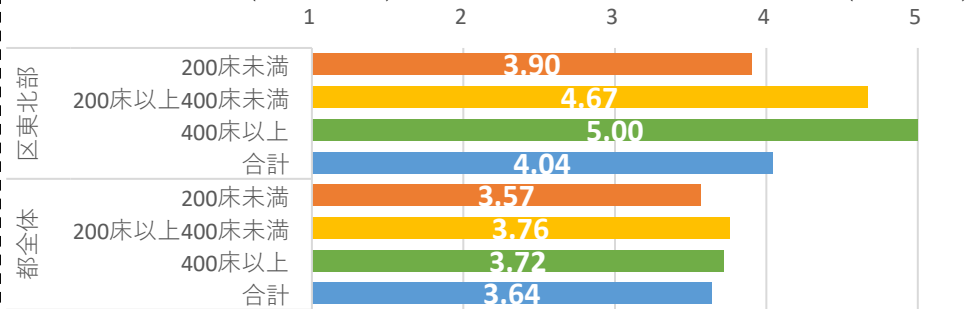
(すごく思う)



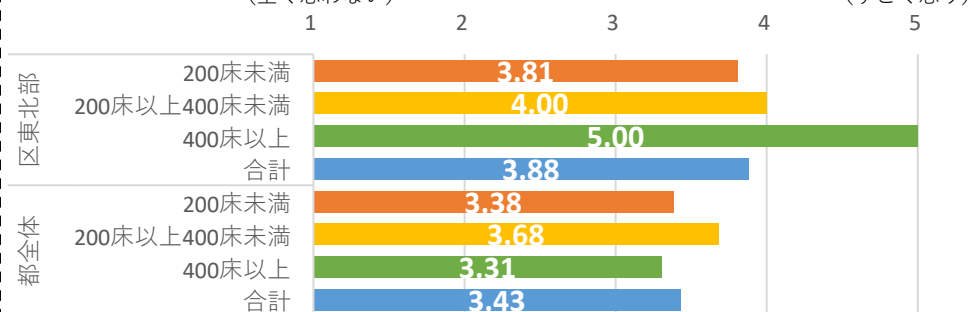
事前アンケートの結果（区東北部）

《自院の課題》

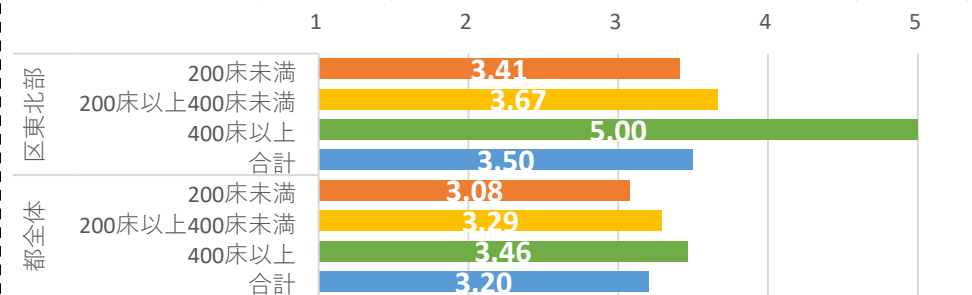
自院の医師が潤沢であれば、積極的に受け入れることが可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)



自院の医師以外の職員が潤沢であれば、積極的に受け入れることが可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)

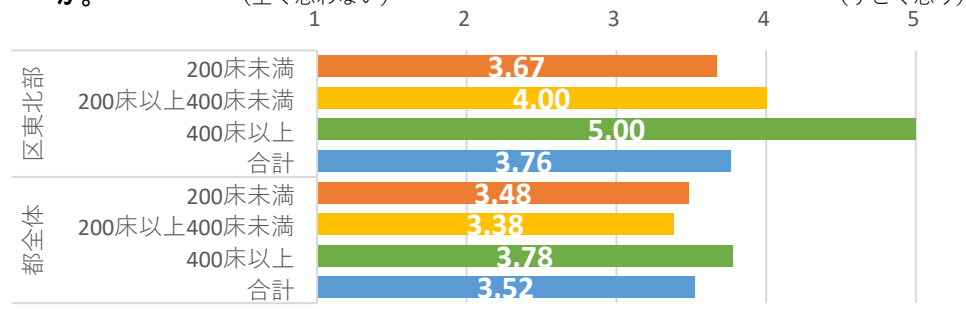


自院のベッドコントロールが改善されれば、積極的に受け入れることが
 可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)

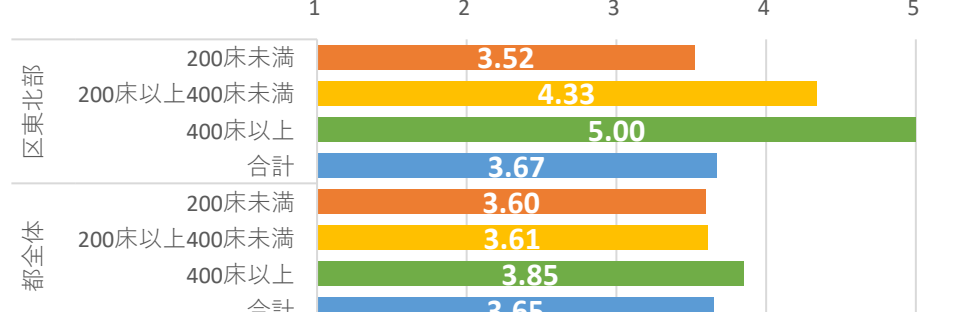


《患者側の課題》

患者側の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)



患者家族の理解さえ早く得られれば、早期に転院させることが可能と
 思いますか。
 (全く思わない) (すごく思う)

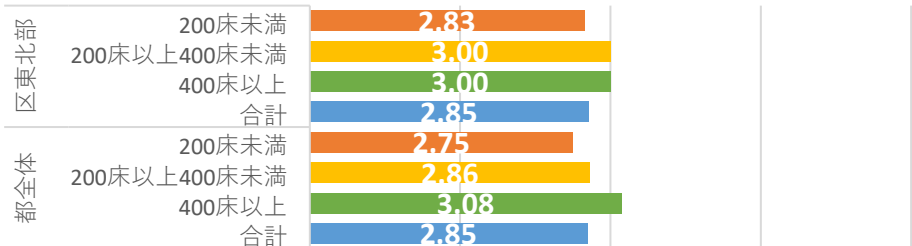


事前アンケートの結果（区東北部）

《下り転院の問題（主に急性期病院が回答）》

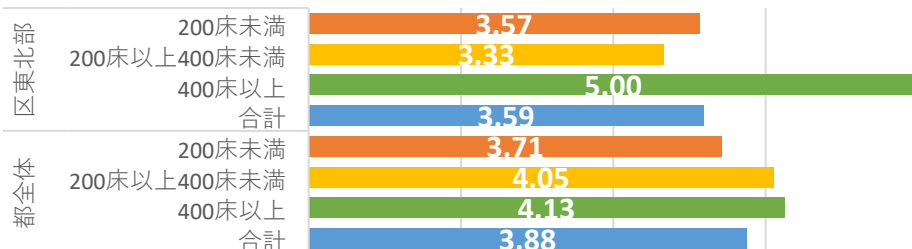
過去に病状が落ち着いたことで転院した患者が、悪化等で再び自院に戻ることがありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



過去に様々な病気を抱えた（複雑な）患者を転院させるにあたり、転院先がなかなか決まらないことがありましたか。

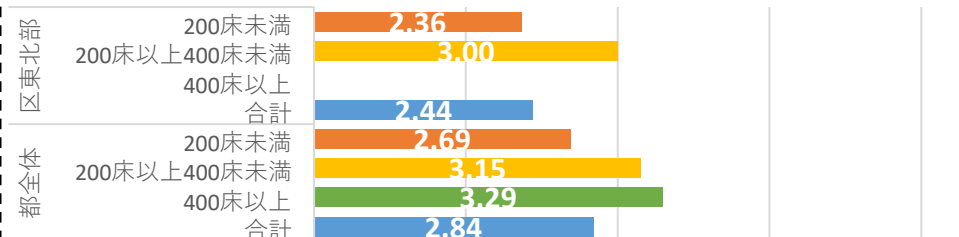
(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



《下り転院の問題（主に回復期・慢性期病院が回答）》

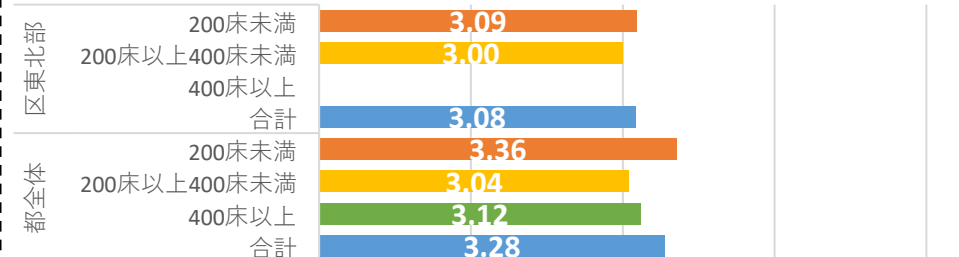
過去に病状が落ち着いたことで転院された患者が、悪化等で再び前医に再入院されたことがありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



過去に急性期病院から様々な病気を抱えた（複雑な）患者の転院依頼があった際に、お断りしたことはありますか。

(全くない) 1 2 3 4 (すごくある) 5



事前アンケートの結果（区東北部）

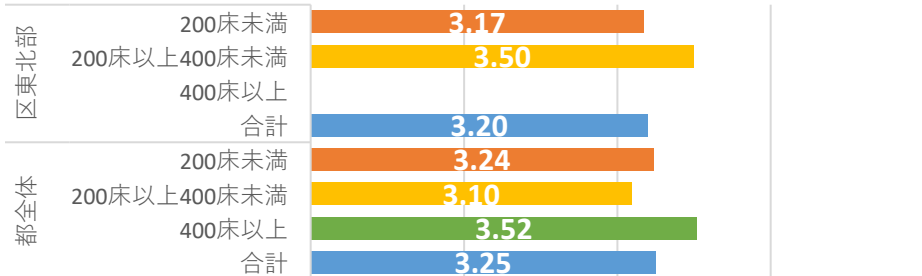
《連携の進捗度》

平成28年の地域医療構想策定当初と比べて、全体的に地域での連携が進んだと思いますか。

(全く思わない)

(すごく思う)

1 2 3 4 5



■ 連携等に関する影響への対応

自院や地域として対応している取組

- ・回復期病院として地域の急性期病院からの迅速な転院受け入れを心掛けている
- ・連携室を窓口迅速な回答を心がけています
- ・相談員のみではなく看護部も介入し対応している
- ・院内においては、受け入れ可否やベット調整等の意思決定している医師が1名なので判断や対応が早い。
- ・挨拶回り
- ・病院訪問で顔の見える関係創りを行い、受け入れ可能な患者状況などについて情報交換を行っている。
- ・病院連絡会や医療連携の会には積極的に参加するようにしている
- ・救急患者連携搬送料の連携協定を締結、協力対象施設入所者入院加算の対象施設との契約を締結
- ・転院の情報交換を行うことで活発となった。
- ・NP（診療看護師）や医師事務作業補助者の職種を配置し、医師の負担軽減に取り組んでいます。また、組織として入退院支援部門を設置し、入退院支援の円滑化を図っています。
- ・オンラインカンファレンスにてP tの情報交換を定期的に行っている
- ・救急隊や地域の救急病院と定期的に情報交換会を行っている

事前アンケートの主な意見（区東北部）

自院や地域として対応していくべき取組の考えやイメージ

- ・単科精神科での対応が難しい身体疾患がある患者に関しては都立病院が積極的に受け入れを行う必要があるのではないかと考えている。
- ・各病院がその機能を果たすことが大切だと思います。
- ・もう少し、看護師、薬剤師、栄養科、リハ科など様々な分野での地域連携があるといいと思います。
- ・救急患者連携搬送料の連携医療機関の拡大、協力対象施設入所者入院加算の対象施設の拡大
- ・入院の受け入れ情報をリアルタイムでやり取りすることで、患者さんの受け入れや転出をスムーズに行いたい。
- ・患者要因の転院遅延を防ぐことを目的に、疾患ごとに地域別の連携システムを結び、転院にかかる作業の簡略化を図ればと思います。
- ・もっと医療依存度の高い術後短い患者も転院相談できるような病床があるとさらに手術に注力できると思う

■ 地域連携の推進についての意見

- ・医師同士の連携が進むと良いのではないかと。
- ・多職種で、地域の中で関わる時間が持てると良いと思います。
- ・どのような疾患でどのような状態までであれば受けられるといった具体的な一覧があると更なる連携が可能になると思う。
- ・二次医療圏での連携が活発に行われるようになると良いと思います。